

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	4020119
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
都市建設部	都市計画課	宅地建築班

事業(予算)名	木造住宅耐震補助事業
---------	------------

総合計画体系	施策の大綱	第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち						
	施策	施策2 市民を守る防災・消防救急体制の充実						
	施策の展開	(1) 災害に強いまちづくりの推進						
予算科目	会計	一般	款	7	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律 富里市耐震改修促進計画							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H20				-			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	熊本地震における建築物被害の原因分析を行う委員会が、平成28年9月に取りまとめた報告書に新耐震基準の木造建築物で、平成12年6月以降の倒壊率が低いという検証がありました。それを受け国は平成29年5月に「新耐震基準の木造住宅の耐震性能検証法」を示しました。						
	対象(誰・何を)	市民、平成12年5月31日以前に着工された在来工法による木造住宅						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	富里市耐震促進計画を平成30年3月に改正を行った。 耐震診断及び耐震改修の補助対象を、昭和56年5月31日以前から平成12年5月31日以前に着工されたものとする。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	補助事業のため						
	協働の取組	有	協働の取組内容	計画改正に当たり、パブリックコメント等を実施した。				

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
耐震診断実施数	件	35 (累計)	9	9	9	耐震診断への補助事業のため
耐震改修実施数	件	11 (累計)	4	4	4	耐震改修への補助事業のため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
木造住宅耐震補助事業	都市建設部	都市計画課	宅地建築班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	耐震診断実施数	件	—	—	9		9		
	耐震改修実施数	件	—	—	4		4		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	耐震相談会の開催回数	回	6	4	—	—	—	—
		耐震診断補助金の申請件数	件	12	1	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	耐震相談会の開催回数	回	6	4	—	—	—	—
		補助金の申請件数	件	12	1	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	住宅耐震相談会においては、6回の開催予定に対し4回の開催で市民の相談者件数は10組であった。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	耐震の必要性を市民が認識する上で、また、地域防災にもつながることから、今後も国・県からの補助制度の動向も見ながら事業を継続していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	4030219
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
都市建設部	都市計画課	宅地建築班

事業(予算)名	空家等対策事業
---------	---------

総合計画体系	施策の大綱	第4章 人と自然が調和し、安全安心なまち						
	施策	施策3 安心できる地域社会を築く防犯・安全対策の充実						
	施策の展開	(2) 安心して暮らせるまちづくり						
予算科目	会計	一般	款	7	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H28				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	空き家が抱える現状や課題は大きな社会問題となっており、そのため空家等対策の推進に関する特別措置法が平成27年に全面施行された。富里市においても空家等への対応を図るため、平成28、29年度に実態調査を行った。今後は、空家等対策計画の策定や空家活用システムの構築など空き家を増やさないための方策の推進が必要となってくる。						
	対象(誰・何を)	市民、空き家						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	空家等対策計画の策定 空き家活用ニーズ調査のためのアンケートの実施 空き家活用システムの構築 空き家再生等推進事業による補助金交付						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input checked="" type="checkbox"/> その他の民間活用（一般社団法人 千葉県宅地建物取引業協会 印旛支部）						
	事業手法選択の理由	空き家への市の指針となる計画策定であるため 空き家活用のためのバンクについては、一部民間機関との協力関係の構築が必要となる						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
空き家計画の策定	—	—	策定			市の空き家に対する指針となるため
アンケート調査	件	0	641			空き家所有者ニーズの把握のため
空き家バンク登録	件	0	10	10	10	登録の推進が第一段階のため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
空家等対策事業	都市建設部	都市計画課	宅地建築班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	空き家計画の策定	—	—	策定					
	アンケート調査	件	—	641					
	空き家バンク登録	件	—	10		10			
第三次実施計画	活動指標*	空家等実態調査対象	件		—	—	—	—	
		空家等実態調査及び空家等対策計画策定	件	450 1	687 0	—	—	—	—
		空家等情報のシステム構築	件			—	—	—	—
	成果指標*	空家等実態調査対象	件			—	—	—	—
		空家等実態調査及び空家等対策計画策定	件	450 1	687 0	—	—	—	—
		空家等情報のシステム構築	件			—	—	—	—

\* 活動指標: 事務事業の活動量を表す指標      \* 成果指標: 達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	実態調査及び対策計画の策定については地域住民が安心して暮らせるまちづくりの基礎となるものである。実態調査においては、国及び県からの補助制度も活用し、業務を完了することができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	今後は、所有者の意向等も把握した上で、空き家バンク等の達成に向け今回の調査結果を有効に活用していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	○	事業コード	5010119
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
都市建設部	都市計画課	計画班

事業(予算)名	都市計画策定事業							
総合計画体系	施策の大綱		第5章 市民のこころをむすび、可能性を未来につなぐまち					
	施策		施策1 市の持続的な発展を支える市街地の整備と計画的土地利用の推進					
	施策の展開		(1) 拠点となる市街地の整備と機能誘導					
予算科目	会計	一般	款	7	項	2	目	1
関連計画・根拠法令等	都市計画法, 都市緑地法, 景観法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H28				H32	計画策定が完了		

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	平成14年に策定した都市計画マスタープランも人口の急激な減少と高齢化を背景として、市民が安全で安心な生活環境を実現することや、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を可能とすることが大きな課題となっている。 また、本市には、農地、樹林地、河川、牧場、公園など様々な緑が多く残されており、これらの緑地をどのように守り、創り、育てていくかが大きな課題となっている。また、本市は、高崎川、根木名川の源や肥沃な農地、谷津田など自然環境に恵まれたまちであることから、本市が誇れる市民共有の財産として認識し、良好な景観形成により、市民が誇れる愛着のある住みやすいまちづくりが求められている。						
	対象 (誰・何を)	市民, 事業者						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	○富里市都市計画マスタープラン(富里市の都市計画に関する基本的な方針)の見直し 社会情勢の変化に対応した持続可能な都市経営を目指すため、平成48年を目標年次とする。 ○「富里市緑の基本計画」の調査研究並びに計画の見直し 市民の共有財産である緑を守り育てるため、本市の将来の緑のあり方や緑地の保全や緑化の推進の実現に向けた考え方を示し、人と緑が調和し、未来を拓く臨空都市とみさとの実現に向け計画の推進を図る。 ○「富里市景観計画」の新規策定 市民の共有財産、資源である美しき景観を保全していくため、開発計画、建築行為が景観計画に即した内容であるかをチェックし、良好な景観を損なわないため、建築物などに関するルール作りを検討する。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法 選択の理由	都市計画マスタープラン、緑の基本計画の見直し及び景観計画策定については、専門的見識、技術力を必要とする作業であるため。						
	協働の取組	有	協働の取組内容	パブリックコメント等を実施し、市民の意見を計画に反映させる。				

指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
計画策定 (都市計画MP)	—	検討	策定			現計画内容の見直しのため
計画策定 (緑の基本)	—	研究	研究	調査	策定	現計画内容の見直しのため
計画策定 (景観計画)	—	研究	景観行政 団体移行	調査	策定	景観行政団体への移行に伴い 景観計画を新規に策定するため
後期基本計画 における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略におけ る指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に 寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名		部等名	課等名		班等名				
都市計画策定事業		都市建設部	都市計画課		計画班				
指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	計画策定(都市計画MP)	—	—	—	策定				
	計画策定(緑の基本)	—	—	—	研究	調査			
	計画策定(景観計画)	—	—	—	景観行政 団体移行	調査			
第三次実施計画	活動指標*	都市計画マスタープラン 有識者懇談会の開催	回	2	3	—	—	—	—
		都市計画マスタープラン 策定委員会の開催	回	2	2	—	—	—	—
		地域別懇談会の開催	回	4	2	—	—	—	—
	成果指標*	都市計画基礎調査及び分析	ha	5,388	5,388	—	—	—	—
		都市計画マスタープランの策定	—	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	都市計画マスタープランは、都市計画のみならず、多岐分野に関わる内容を精査しつつ、改定していくものである。都市計画以外の分野からの課題やこれからの目標を確認できたことで、都市計画の将来像を設定することができた。また、有識者懇談会は外部の専門家より、策定に向けての助言等をいただいたところである。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	素案を作成し、住民意見等を聴きながら、案へ移行し、都市計画審議会の答申を得て平成31年4月の公表に向けて策定手続きを進めていく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	5010119
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
都市建設部	都市計画課	都市整備班

事業(予算)名	区画整理総務事業
---------	----------

総合計画体系	施策の大綱	第5章 市民のこころをむすび、可能性を未来につなぐまち						
	施策	施策1 市の持続的な発展を支える市街地の整備と計画的土地利用の推進						
	施策の展開	(1) 拠点となる市街地の整備と機能誘導						
予算科目	会計	一般	款	7	項	2	目	3
関連計画・根拠法令等	土地区画整理法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H11				H38	事業の完了により終了する。		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	土地区画整理事業運営に伴い必要となる職員研修, 消耗品, 図書購入, 土木積算システム賃借・保守等を行っている。						
	対象(誰・何を)	七栄新木戸地区土地区画整理事業						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	土地区画整理事業の運営に係る事務を行う。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由							
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
研修参加人数	人	2	3	3	3	職員の知識向上
進捗率	%	46.3	46.9	51.5	58.9	事業計画に対する全体の進捗(率)
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
北新木戸地区事業進捗率	%	41.9	78.8	北新木戸地区事業の進捗率(事業費ベース)		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
区画整理総務事業	都市建設部	都市計画課	都市整備班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	研修参加人数	人	—	—	3		3		
	進捗率	%	—	—	46.9		51.5		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	研修参加人数	人	6	2	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	七栄北新木戸土地 区画整理事業進捗率	%	49.0	46.3	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—		

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 \* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	土地区画整理事業に係る経常経費であるため評価にそぐわない面があるが、一定の成果はあったものと思われる。
		実績値を踏まえた 今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由 及び今後の予定	七栄北新木戸土地区画整理事業の完了まで継続する。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた 今後の方針	
		今後の方針の理由 及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた 今後の方針	
		今後の方針の理由 及び今後の予定	



第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続  継続  主要事業  ○ 事業コード 5010119

➡ 【継続】の場合の区分 継続

部等名	課等名	班等名
都市建設部	都市計画課	都市整備班

事業(予算)名 七栄新木戸地区土地区画整理事業

総合計画体系	施策の大綱	第5章 市民のころをむすび、可能性を未来につなぐまち						
	施策	施策1 市の持続的な発展を支える市街地の整備と計画的土地利用の推進						
	施策の展開	(1) 拠点となる市街地の整備と機能誘導						
予算科目	会計	一般	款	7	項	2	目	3
関連計画・根拠法令等	土地区画整理法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H11				H38	事業の完了により終了する。		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	国道409号, 都市計画道路3・4・20号成田七栄線周辺に商業施設等の自然立地が見られるが都市基盤整備が進んでいない。						
	対象(誰・何を)	七栄新木戸地区の都市計画道路を始めとする都市基盤施設並びに宅地						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	都市計画道路等の都市基盤施設を整備し, 市の玄関口に相応しい良好な市街地形成を図る。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	富里インターチェンジ周辺を市施行による土地区画整理事業により整備する。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
事業費	千円	76,078	29,063	235,614	375,841	年度ごとの進捗
進捗率	%	46.3	46.9	51.5	58.9	事業予定進捗(事業費ベース)
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
北新木戸地区事業進捗率	%	41.9	78.8	新木戸地区事業の進捗率(事業費ベース)		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
七栄新木戸地区土地区画整理事業	都市建設部	都市計画課	都市整備班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	事業費	千円	—	—	29,063		235,614		
	進捗率	%	—	—	46.9		51.5		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	七栄北新木戸地区区画整理事業事業費	千円	172,849	76,078	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	七栄北新木戸地区区画整理事業進捗率	%	49.0	46.3	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

\* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	当初の計画よりも遅れているが区画の整備を進めることができた
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	市施行の区画整理事業であり、市が責任を持って完了する必要がある。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続  継続  主要事業  ○ 事業コード 5020119

➔【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
都市建設部	都市計画課	都市整備班

事業(予算)名	街路整備推進事業							
総合計画体系	施策の大綱	第5章 市民のこころをむすび、可能性を未来につなぐまち						
	施策	施策2 活力を呼び込む交流基盤の整備						
	施策の展開	(1) 幹線道路の整備						
予算科目	会計	一般	款	7	項	2	目	4
関連計画・根拠法令等	都市計画法,道路法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H27				H35	都市計画道路3・4・20号成田七栄線及び市道1-0150号線の完成		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	都市計画道路3・4・20号成田七栄線は、東関東自動車道富里ICと成田市を結ぶ路線として本市の骨格を形成するための重要な路線であるが、現道の一部が狭隘なことから、歩行者や自転車通行が危険な状況となっている。また、慢性的な交通渋滞が発生しているため、路線バスや救急車等の円滑な通行の妨げとなっている。						
	対象(誰・何を)	市民						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	都市計画道路3・4・20号成田七栄線は、都市における円滑な移動の確保、良好な市街地の形成、災害時の防災性の向上など多様な機能を有しており、将来にわたって市民生活の向上や市内経済活動の持続的発展を支える重要な路線であることから、早期の完成を目指す。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法選択の理由	専門的作業となる測量、設計、調査、工事について民間事業者へ発注する。また、用地取得については、限られた財源を有効活用し円滑な事業の推進を図るため、千葉県地方土地開発公社による用地取得の一部を委託する。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
都市計画道路3・4・20号成田七栄線整備進捗率(事業費ベース)	%	9.7	17	55	70	事業の進捗状況を市民に解りやすく伝え、計画的な市民経済活動に寄与するため
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
都市計画道路3・4・20号成田七栄線整備進捗率(事業費ベース)	%	0% ( H26 )	75%	KPI	安心安全な市民生活と機能的な都市活動を確保し、「しごと」「ひと」の好循環を生み出し「まち」の活性化に寄与する。	
		( )				
		( )				

事業(予算)名		部等名	課等名		班等名		
街路整備推進事業		都市建設部	都市計画課		都市整備班		
指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	都市計画道路3・4・20号 成田七栄線整備進捗率(事業費ベース)	%	—	—	17	—	55
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
第三次実施計画	活動指標*	委託・工事件数	件	29	11	—	—
				—	—	—	—
				—	—	—	—
	成果指標*	都市計画道路の整備済み延長	m	6,894	6,894	—	—
		都市計画道路3・4・20号 成田七栄線 用地買収	%	27	26	—	—
				—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

\* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	用地買収について、目標値を上回ることはなかったものの相当程度達成した。(千葉県地方土地開発公社による先行取得除く)5筆(地権者10名)
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	都市計画道路3・4・20号成田七栄線は、都市における円滑な移動の確保、良好な市街地の形成、災害時の防災性の向上など多様な機能を有しており、将来にわたって市民生活の向上や市内経済活動の持続的発展を支える重要な路線であることから、早期の完成を目指す。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	5040119
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
都市建設部	都市計画課	都市整備班

事業(予算)名	公園緑地管理事業
---------	----------

総合計画体系	施策の大綱	第5章 市民のこころをむすび、可能性を未来につなぐまち						
	施策	施策4 青少年の健全な育成						
	施策の展開	(1)公園の整備、(2)施設の効率的な維持・管理						
予算科目	会計	一般	款	7	項	2	目	2
関連計画・根拠法令等								
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	公園・緑地を良好に管理するため、公園施設等の点検、巡回、公園施設の整備・修繕、清掃、除草、植栽管理等の維持管理及び市民による公園管理協定に関する業務を行っているが、老朽化する公園施設の維持や作業用機器の更新が課題となっている。また、高齢化により市民との管理協定においても継続が困難な団体もあり、今後ますます増加していくことが懸念される。						
	対象 (誰・何を)	市内の公園施設・緑地 市民及び管理協定団体						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	①都市公園施設の長寿命化計画の策定による計画的な修繕や作業の主軸として使用している老朽化した乗用芝刈機(平成10年6月購入)を更新することにより良好な公園管理を継続する。 ②日吉台宅地間植樹帯を直営管理することにより市民負担の軽減及び良好な緑地管理を継続する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ( )						
	事業手法 選択の理由	①計画策定においては、施設の診断等の専門的な知識が必要であるため委託が必要である。 ②今後ますます高齢化社会が進む中で直営管理することにより市民負担の軽減や管理の継続が図れる。						
	協働の取組	有	協働の取組内容		管理協定において継続可能な自治会等と再締結することにより無理のない協働の取り組みを実現する。			

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
市内公園数	箇所	117	118	118	118	対象施設
公園管理協定締結公園数	箇所	73	72	74	75	協働の推進
計画策定公園数	箇所	0		13		計画的な管理計画
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
市内公園数	箇所	113	118	暮らしやすい地域づくりのため、身近な憩いの場の確保に寄与		
公園管理協定締結公園数	箇所	74	78	地域の自主管理による協働の取り組みの推進に寄与		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		( )				
		( )				
		( )				

事業(予算)名		部等名	課等名		班等名			
公園緑地管理事業		都市建設部	都市計画課		都市整備班			
指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	市内公園数	箇所	—	—	118		118	
	公園管理協定締結公園数	箇所	—	—	72		74	
	計画策定公園数	箇所	—	—			13	
第三次実施計画	活動指標*	市内公園数	箇所	116	117	—	—	—
		公園管理協定締結公園数	箇所	76	73	—	—	—
				—	—	—	—	—
	成果指標*	市内公園数	箇所	116	117	—	—	—
		公園管理協定締結公園数	箇所	76	73	—	—	—
				—	—	—	—	—

\* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

\* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	市内公園数の増加 公園管理協定締結公園数の維持
		実績値を踏まえた 今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由 及び今後の予定	老朽化する施設の保全などかかる費用は増加する背景もあるため、 経費削減を図るための検討を行っていく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた 今後の方針	
		今後の方針の理由 及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた 今後の方針	
		今後の方針の理由 及び今後の予定	